

## 種球の浸漬(吸水)

### 目的

表皮(薄皮)が種球を保護しているため、発芽が遅れる。

薄皮をむけば、吸水しやすくなるので発芽が早まる。

— つるつる植え —

一つひとつ薄皮をむくのは容易ではないので、浸漬(吸水)とする。

### 使用

植付前日に、種球を浸漬(どぶ漬け)する。 24時間

## 種球の消毒

### 目的

ジャンボ無臭ニンニクは、病害虫に強いが、予防として行う。

殺菌剤:ベンレートT 水和剤20 登録:第20888号

黒腐菌核病・イモグサレセンチュウにも効果あり

殺線虫剤:ガードホープ液剤 登録:第22114号

イモグサレセンチュウ・チューリップサビダニ 等

### 使用

ベンレート : 200倍液

(50g:水10ℓ)

ガードホープ : 500倍液

(20ml:水10ℓ)

混合にて、30分浸漬(どぶ付け)

- ・ 植付前日、種球を24時間浸漬(どぶ付け)を行い、そのまま、(一度水を切って)殺菌・殺虫の30分浸漬(どぶ付け)をする。その後速やかに(乾燥させない)植付。 <30分の植付時間に合わせて、分割して浸漬(どぶ付け)を行う>